

世界GW株式会社 かぐや姫の巻 中篇 (2012年6月記)

かぐや姫の物語の前半は、かぐや姫に結婚を申し込む皇子や公家、そして、かぐや姫が望む結納の品々とその顛末ですわ。

かぐや姫に求婚する皇子や公家さんは実在の人やったんでっせ。

文武5年(701年)の政府高官の職員録の名前をちょっと変えて使いましたんや。

物語の中の名前と実際の名前は次の通りですわ。

物語の登場人物	実際の名前	生没年
右大臣・阿倍のみむらじ	右大臣安倍御主人(みうし)	635年～703年
大納言・大伴のみゆき	大納言大伴御行	646年～701年
中納言・いそのかみのまろたり	大納言石上麻呂	660年～717年
石つくりの皇子	左大臣多治比嶋(たじひのしま)	624年～701年
くらもちの皇子	藤原不比等	659年～720年

上から三つまでは、そのまんまやから、説明要りませんやろ。

石つくりの皇子が、なぜ多治比嶋かと言いますとね、一族に石作氏がいるんですわ。

そして、くらもちの皇子ですがな。くらもち、く～らもち、くるまもち、ちょっと前に言いましたやろ。

藤原不比等のお母さんの名前ですがな。暗号ですがな、カグヤ・コードですがな。

最近、ダン・ブラウンが、うちの真似して本を書きましたやろ。

けど、これ売れましたんや。映画にもなりましたんや。

かぐや姫をどこぞの会社が映画にしてくれへんやろか。

吉永小百合で決まりやな、かぐや姫。

でも小百合さんちょっと老けてきたなあ。



ダ・ヴィンチ・コード

この登場する人たちね、みんな天武天皇(631年?～686年)に仕えた偉い人ばかりなんですわ。その人たちにかぐや姫が結納として取って来て欲しいちゅう無理難題のものはこれらですわ。

登場人物	求められたもの	結果
右大臣・阿倍のみむらじ	火鼠の皮衣	燃えないはずがメラメラと、失敗。
大納言・大伴のみゆき	龍の首の五色の玉	船出して難破、ほうほうの体で戻る
中納言・いそのかみのまろたり	燕の子安貝	巢に上り落ちる。掴んだものは糞
石つくりの皇子	仏の御石の鉢	偽物を持ち込み、見破られる
くらもちの皇子	蓬莱山の玉の枝	業者から工賃請求あり見破られる

これらのしなもんはみ～んな、シナの道教からパクったんですわ。

(1)火鼠(ひねずみ)の皮衣(かわごろも)/阿倍のみむらじ

これは火炎布のことで、火の中に入れると火の色になるけど、火から取り出すと汚れが取れて真っ白になるというものですわ。つまり、アスベストのことなんですわ。

当時、中国にはアスベストはなかったんやけど、ローマ帝国あたりから輸入物があつたんですわ。

ヨーロッパではイモリが地中の火の中に生息すると信じられて、サラマンダー(火トカゲ)と呼ばれますやろ、アスベストのこともサラマンダーと言ってましたで。



タイガー・サラマンダー

(2)龍の首の五色に光る玉/大伴のみゆき

中国の話に『黒色の龍の下にある玉』からのパクリですわ。

危険を冒さねば手に入れることのできない貴重なものちゆうたとえですわ。

(3)燕(つばくらめ)の持つ子安貝/いそのかみのまるたり

すんません、これね、ちょっと色つぼくなってしまうんですよ。

子供さんらには、聞かせんといて下さいな。

ツバメは中国では受胎と性愛を象徴する鳥で『玄鳥』って言うんでっせ。

日本でも、つがいのツバメのオスの方を殺して、メスだけ放したら、次の年の春にメスが一匹だけで飛んで来たちゆう話があるんですわ。

うらやましいでんな。かあちゃん、聞いているかあ。



昔のつばめ、東京一大阪6時間半



今のつばめ、JR九州の新幹線

玄鳥の玄は黒でんがな。これもお子さん方には言わんといて下さいね。

黒は、つまり母体、女性自身のことなんですわ。

老子に『谷神死せず、是を玄牝(げんぴん)と謂う。玄牝の門、是を天地の根と謂う』とありますんや。実は、なんのこっちゃ、ようわかりませんのや。

カンヌ映画祭でグランプリ(殞の森、2007年)を取った河瀬直美さん(1969年～)の映画で『玄牝』(2010年)ちゆうのがあるんですが、ご存知ありませんか？この映画は自然出産の医院を撮ったドキュメンタリーでしたわ。

河瀬さんね、奈良市紀寺町出身ですわ。一条高校ですわ。これ、一部の人以上、関係おませんな？この人にかぐや姫も映画化してもらえませんか？



河瀬直美監督作品

また、玄ちゆうのは『万物は木火土金水から成る』ちゆう中国の五行説では北の方角を指すんですわ。玄武ちゆう脚が長い亀で、蛇がからみついている北を守る動物の絵を見たことありまっしゃろ。

えっ、ありませんか？奈良県の明日香村のキトラ古墳にも描かれてまっせ。



キトラの玄武

東西南北で北の方角以外の動物は龍、虎、雀と一匹やのに、なんで北だけが二匹の動物か、ご存知ですか？

これね、中国の道教で、西の月の神様の西王母と東の太陽神の東王公が冬至の日に抱き合っ  
て、宇宙が再生するちゅう話から来てまんのや。

日本で冬至の祭りちゅうたら宮廷の新嘗祭ですやろ、天皇さんが五穀豊穡を祝うまつりでんがな。  
きょうびで言う勤労感謝の日でんがな。

そして、宮中ではその後に豊明節会(とよあかりのせちえ)ちゅう無礼講がありましたんでっせ。

天女や月の仙女の格好をして踊った舞姫が天皇さんとお寝んねするんですがな。

これって、月の光で弱った太陽を復活させるちゅう意味でんねん。

こらへんのことも、かぐや姫に関係するんで物語にちよびっと入れてあるんでっせ。

そして子安貝ですがな。

貝やから、何を言わんとするかもう分ってまっしゃろ。

これは日本では出産の時のお守りでしたねん。

握っていると安産になるって言われてたんでっせ。



子安貝と思いつかんだものは？

また、ヨーロッパや、中国ではお金として使われてたんですわ。

そやから、お金に関する漢字にはみんな貝の字が入ってまっしゃろ。

小学校の一年から習う漢字は貝、買、負、貨、賞、貯、費、賀、財、賛、

資、質、貧、貿、貴、賃でんがな。賄賂ちゅう字もそうでしゃろ。これ中学校で習うのやろか、役所  
に入ってからやろか。売るって言う字も昔は賣って書きましたでしよ。

#### (4) 仏の御石の鉢/石つくりのみこ

これは四天王(持国天、増長天、広目天、多聞天)がお釈迦さんに  
差し上げた四つの鉢を、お釈迦さんが重ねてペしゃんこにしたという  
伝説の鉢ですわ。

それをビンズルちゅう、お釈迦さんのお弟子さんが、呪術を使ってそ  
の鉢を取り寄せたちゅうんで、お釈迦さんからとがめられて、お釈迦さ  
んが亡くなって弥勒菩薩さんが出てくる56億7千年の間は布教に専  
念するよう言われた坊さんなんですわ。

そのビンズルさん信仰が中国に入ると寺院の食堂にビンズルさんの像を据えて、その前に鉢を置  
いたんですわ。そんで、石つくりのみこは奈良の山寺のビンズル像の前にあった鉢が仏の御石の  
鉢やって言って持って行ってばれたんですわ。

きっと、これで許しておくれやすって言いたかったんでっしやろね。



東大寺のビンズル尊者

(5)蓬萊の玉の枝/車もちのみこ

東の海の蓬萊という山にある黄金の木で、それになる実を食べれば不老不死となると言われましたんや。

そやから、中華料理店に蓬萊ちゅう名前のお店がぎょうさんありまっしゃろ。



滋賀県大津市の蓬萊駅  
(JR西日本、湖西線)

この、車もちのみこちゅうか、不比等の藤原一族を批判したくって、うちは竹取物語を、まず書きたかったんですわ。

そやさかい、玉の枝の偽ものがばれた後に、一番惨めな、はずかしめを受ける形にしてありますやろ。

不比等のお父さんの鎌足さん(614年～669年)ね、天智天皇(626年～672年)と大化の改新で政権を取らあったけど、天智さん亡くなってすぐの672年の壬申の乱で弟さんの天武さん(631年?～686年)に政権を奪いと取られましたわな。

この乱の時に不比等は、13歳やったんで、しばらく、かくまわれておったんですけどな、天武さんの奥さんの持統天皇(645年～702年)に引き立ててもらえたんですわ。

不比等が天智さんの隠し子やったら、持統さんとは腹違いの姉弟になりますもんね。

そやからやろか、不比等が宮廷のトップになった翌年の697年に、持統天皇が譲位しはって、お孫さんの文武天皇(686年～707年)が即位してますやろ、そして不比等の娘の宮子さん(?～754年)がその夫人になってますのや。

これね、持統さんが夫の天武さんの血筋やのうて、父親の天智さんの血筋を天智—持統—草壁—文武そして宮子を通じて残して行こうという計画を実行したんでっせ。

古事記のアマテラス—アミノオシホミ(子)—ニニギ(孫)の構図のまんまですわ。裏で糸を引いてましたんがタカミムスビですわ。アミノオシホミの嫁さんの父親ですわ。

これで、登場人物みんなわかりまっしゃろ。不比等の野郎でんがな。

そやから、宮子さんから聖武天皇さん(701年～756年)が生まれはって、これまた不比等の娘の光明子さん(701年～760年)が一緒になって、二人からは娘の称徳天皇さん(718年～770年)が生まれはって、二回も天皇(孝兼/称徳)してまっしゃろ。

そしてこの称徳さんが道鏡さん(700年?～772年)との問題で失脚した後は、天智さん孫の光仁天皇さん(709年～782年)に後任の政権が移ってますやろ。

光仁さんは藤原一族やない嫁はんをもらったんでっせ。

その子の桓武さん(737年～806年)が、奈良を離れて京都に移って藤原一族から離れようとしてきましたけどな。

あきませんわ、桓武さんの嫁さんも藤原で、そのお子さんたちも、みんな藤原の嫁さんばっかですもんね。それで、摂関政治の始まりですよんか。

うちな、何回も言いますが、藤原さんが嫌いなんですもん。そんでかぐや姫を書いたりしましたもん。けど、紫式部さん、この人は藤原北家出身ですけどね、ほめてくれましたわ、日本書紀より竹取物語の方がすばらしいわって。そりゃ、そうですわな。

古事記や日本書紀は天武さんの命令で作りはじめたんやけど、完成前に亡くなりましてね、不比等が、プロジェクトメンバーに入っとったさかい藤原＝天皇みたいな内容になってるんですわ。それに、日本書紀なんか、古事記の漢文への翻訳ですよんか。中身はそんなに変わってませんのや。

えっ、さっきから不比等だけを呼び捨てにしてるのは、どういうわけかってですか？

わかりまっか。うちね、不比等にだけは特別な感情を持ってますもん。

古事記ね、前にも言うたように、うちが創作したんやけど、買ってもらえませんでしたんや。誰にて、きっと後ろで糸を引いてた不比等ですがな。

プロットだけ取られて、自分たちの都合のいいように書きなおしよって、それに日本書記へのトランスレーションにしても、こちらには、なんもお金が入ってきませんのや。

不比等!!この野郎!!アイデア泥棒!!金払え!!!

不比等!!お前が張本人やろ、摂政や関白や、日本歴史のラスプーチンや。いてまうぞ。

あかん、あかん、ちょっと興奮してしもうたわ。血圧が上がつとるやろな。

でもね、竹取物語をほめてくれた紫式部さんに、うちは『源氏物語』ちゅうアイデアをプレゼントしたんでっせ。かぐや姫のときに取材したネタが一杯ありましたんや。この本は売れましたで。その内容ちゅうのはね、あかん、あかん、これも話しとったら時間がなくなってまうわ。

かぐや姫の物語ね、この後が本題ですもん。

天皇の片思い、歌のやり取り、月からのお迎えとカタストロフィへ向かって進んでいきますんや。これにも、いろいろと工夫を凝らしたんでっせ。

でも、すみません、ちょっとここで、また、はばかりに行かせて下さいな。

最近、なんや、ちこうなってまんのや。歳やろかなあ。そんなことないと思うけどなあ。

(参考図書:かぐや姫と王権神話 保立道久・著 洋泉社)